

社会変化に対応したい

つばた あんな
坪田 晏奈さん(丹南高2年)



中国では急速に決済アプリが広まり、キャッシュレス化が進んでいる。中国の電子商取引会社によると、利用者は全人口の半数近い6億人に上り、スーパー、コンビニはもちろん、市場でもモバイル決済が主流となってきている。

常にある先進的な国であるように感じた。なぜ中国でモバイル決済が普及しているのか不思議に思い、調べてみると、中国では偽札の大量流出が社会問題になっていて、紙幣への信用が低いことが関係していると分かった。

日本は真逆で、紙幣や金に、自分で情報を集める習慣を身につけておこうと思う。

融システムに対しての信頼が厚い。私もお金の流れが見えない買い物に抵抗がある。以前、仮想通貨の個人情報が流出した事件があったが、モバイル決済でも同様のことが起きるのではないかと不安だ。



決済アプリ 急速拡大



「現金お断り」の店も

現金お断りの店が増えている。QRコード決済の普及が、現金決済を拒否する店舗が増えている。丹南高2年の坪田晏奈さんは、中国でモバイル決済が主流になっていることに興味を持ち、調べてみた。中国では偽札の大量流出が社会問題になっていて、紙幣への信用が低いことが関係していると分かった。日本は真逆で、紙幣や金に、自分で情報を集める習慣を身につけておこうと思う。

